

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4F庭園のユリ (2022年7月16日)

夏の庭

岡 聖史
2022年 8月 8日

今年の夏も暑い日が続いています。4Fでは野菜や植物を育てていますが、一日のうちに2～3回は水やりが必要です。植物に水分が足りないと、人と同じ様に、葉っぱがうなだれてしまいます。その為、自動で水やりができる機器の設置が進められています。灌水（かんすい）とも言って、日照りの強い日でも自動的に植物に水が行きわたるのは非常にありがたいです。

さて今月は次項にて、デザートバイキング開催時の様子を載せました。なかなか実現できていなかった部分ですが、どうにか開催できました。是非ご覧ください。



写真= 2Fのフラワーアレンジメントの様子 (2022年 7月13日)

夏と花とアレンジメント

近藤 弘成
2022年 8月 12日

「日射しが眩しい空が続いておりますが、横を流れる麻生川では鴨が子どもを連れて水浴びを行い、ご入居者様も窓の外から見え始めた4F園庭の夏野菜や朝顔を楽しまれている様子です。季節を感じるには風景や植物の変化を目で認識することが一番の方法と思いますが、ロイヤルホームでも、毎月フラワーアレンジメントを実施しています。以前は、アレンジメントの先生が季節の花を用意して、ホームで開催していました。現在は作業療法士が中心となり、ご入居者様のアレンジメントをお手伝いしています。8月のお花は、向日葵、百合（白）、カーネーション、バラ、スターチス、トルコキキョウ、ヒペリカム（赤い実）でした。

「むずかしいのね」、「うまくいかない」、と以前アレンジメントのご経験があるご入居者様も久しぶりとなると調子が出ない様子です。

その様な場面で「これでどうでしょうか」と提案を交えながら、ご入居者様のイメージに沿えるようなアドバイスがなされていきました。

あるご入居者様は「本当に綺麗な色ね」と見とれていらっしゃいました。こうしている間にも30分の時間はあっという間に過ぎてしまいます。出来上がったアレンジメントを見つめながら「来月の冬のお花はなんでしょうね」と期待を残して、8月のフラワーアレンジメントは終了となりました。



写真=デザートバイキングの様子 (2022年7月22日)
向かって右がご入居者様、正面の介護士が介助している場面。デザートバイキングの詳細は事項へ。

今月のトピック

#夏と花とアレンジメント

#デザートバイキング

#委員会活動報告(栄養管理委員会)

#スタッフ紹介

デザートバイキング

平川 昌史
2022年 8月 8日

7月15日、7月22日にデザートバイキングが催されました。

内容としましてロールケーキとカットも凝ったフルーツを器に盛り合わせるデザートと食前酒グラスにゼリーを層に重ねて盛り付けた2種類のデザートで味だけでなく目でも楽しめるデザートとなっております。

居室で召し上がる方には盛り付けて提供し、フロアで召し上がる方には栄養士さんが目の前で盛り付けを実施するというような演出をされておりました。栄養士さんが注意した点としては常食と刻み食の方について見栄えを損なわないよう同じ食材を提供するという点だったとのことです。

ご入居者様に今回のデザートバイキングの感想をお聞きしましたら、「きれいだった」「楽しかった」「果物のカットの仕方も凝っていて盛り付けもよかった」というご感想をいただきました。また「大勢の入居者の前でデザートを作るというパフォーマンスが非日常ですばらしかった。」という通常の生活ではあまり味わえない『非日常』に触れる機会が出来たことを皆様楽しんでられたことが印象として感じました。次回は8月22日、29日を予定しているとのことで素敵な心が躍るデザートの提供をさせていただきご入居者様を“すてきな”笑顔にさせていただけるよう従業員も期待をしております。



写真=デザートバイキングの一部(2022年7月22日)
左上の嚥下調整形態もご用意いたしました

スタッフ紹介

2022年 8月 1日



振り返り

岡 聖史
2022年 8月 9日

7月に入り、新型コロナウイルスへの感染が爆発的に増えました。第7波は重症化リスクが低い一方で感染力が強いのが特徴のようです。そんな中、千葉大学の研究チームが新型コロナウイルス感染後の重症化メカニズムの一部を明らかにしました。重症度が高いほど肺の血管に凝固成分が多くなるそうです。その他、後遺症に対しては高圧酸素療法にて機能回復に一定の成果があったとの報告もあります。今後に期待が膨らみます。



写真=屋上の野菜(2022年8月12日)
オクラ、シトウ、パプリカ、ジャガイモ、ピーマン、胡瓜

ドライバー石原の園芸日記

ムワーツ！とにかく暑い毎日が続いています。屋上庭園の野菜や花々もグツタリとしていますので、朝一の水やりが一番大切です。今年も屋上入り口の正面に横2.5m、高さ4mの朝顔の棚に色とりどりの花が迎えてくれています。「日本の夏だー」と感じます。また、今年は自動水やり装置を設置しました。朝と夕にタイマーで畑と花壇に水が出る仕組みです。屋上がまた活気づく事でしょう。

委員会活動報告 (栄養管理委員会)

岡 聖史
2022年 8月 11日

栄養管理委員会ではご入居者様の栄養状態を毎月チェックし、維持改善に努めています。去年から始めたラウンドは、早い物で1年が経過しました。このラウンドでは、ご入居者様の現在の栄養状態を確認するとともに、摂食嚥下の機能、身体機能、リハビリの実施状況、日常生活機能の変化と様々な視点を考慮してい

ます。

海外では“肥満逆説”という言葉があります。肥満は様々な病気の危険要因と言われていますが、高齢者における肥満は一定の利益があるそうです。日本人における肥満逆説が確認できているのかは不明ですが、痩せているよりも多少体重がある方が骨折、肺炎に罹患した場合、回復に影響を与えるか

もしれません。とはいえ、あまりにも体重が増えすぎると健康に悪影響を及ぼすのみならず、介護する側の負担も多くなります。ですので、BMIという指標(=体重÷身長²)が非常に重要となります。ホームでは18.5~25の範囲でその方にあった栄養状態を算出し、最も健康によいとされている22に近づけるよう計画を立案しています。

食欲の落ちる季節ですが、暑さに負けないようご入居者様を支援してまいります。